

ご法宴は、故人の在りし日のご遺徳を偲び、やすらかなご冥福をお祈りする儀式です。
生前に縁のあった方々が集い、まごころこめたご供養の気持ちを故人にお伝えするのが慣わしでございます。

札幌プリンスホテルではその大切なご法宴の儀を、
お申込みから当日まで心をこめてお手伝いさせていただきます。
厳粛でなおかつ落ち着いた雰囲気の中、故人の思い出を偲ぶひとときを
札幌プリンスホテルでお過ごしください。

ご法要の心得

3カ月前 お申込み

日時、ご人数、ご予算の概略、ならびに宗教・宗派をお知らせください。

2カ月前 ご案内状の作成・ご発送

ご案内状の各種見本をご用意しております。
ホテルにて毛筆の宛名書きを承っております。

30日前 ご会食内容打ち合わせ

お料理、お飲みもの、お引物等、ご予算について詳細のお打ち合わせをさせていただきます。

20日前 お席順表の作成と進行の内容打ち合わせ

ご会食のお席順表、ならびにご来賓のご挨拶、献杯なさる方々をお決めいただきます。
なお、ご挨拶、献杯なさる方々にあらかじめお願いをしておくと宜しいかと存じます。

10日前 最終打ち合わせ、お見積もりのご提出

3日前 最終ご人数のご決定
ご人数のご変更はお料理の準備がございますので、3日前をもって締め切らせていただきます。お引物の最終個数も合わせてお知らせください。

当日

当日は、ご遺影、お位牌をご持参いただき、読経30分前にホテルにお越しください。

ご法要の種類

仏式

仏式では四十九日が忌明け。それまでは七日ごとにご供養をいたします。特に四十九日はとても重要な忌日ですので、親族、故人の友人、知人を招いて供養をし、ご会食をするのが慣わしです。四十九日の後は百か日、一周忌（満一年目）、三回忌（満二年目）、七回忌（満六年目）、十三回忌、十七回忌、二十三回忌、二十七回忌、三十三回忌、三十七回忌、五十回忌、百回忌となります。ご法要は、ご命日よりも前に行うことは構いませんが、遅れてはいけなさとされています。

神式

神式では仏式の法要にあたる儀式を「霊祭」といいます。葬儀の翌日の霊祭を翌日祭、ご逝去後十日目の十日祭にはじまり、十日目ごとに執り行います。忌明けは五十日祭で、これが仏式の四十九日に相当します。この後、百日祭、一年祭、三年祭、五年祭、十年祭と続き、その後の10年ごとに霊祭が行われ、百年祭まで式年祭が続きます。

自由法要

個人の趣味、嗜好を盛り込み、式の進行やお食事のスタイルを自由形式で執り行う法要です。音楽やお花などでの様々な自由法要を演出します。お気軽にご相談ください。

キリスト教式

プロテスタントは1ヵ月のご命日に記念式を行います。司祭（牧師）の先導により、聖書を読んだり、讃美歌を歌って故人を偲びます。カトリックでは、ミサ聖祭と呼ばれる追悼ミサを、ご逝去の日より三日目、七日目、三十日目、その後は1年ごとに執り行います。